

参考

伐採及び伐採後の造林届出書 記載例 (様式第1号)

伐採及び伐採後の造林の届出書

年 月 日

〇〇市町村長 殿

**※必須**

**森林所有者**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 〇〇 〇〇  
 電話番号

**伐採する者(立木を伐採する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 △△(株)  
 電話番号

**伐採後の造林をする者(造林する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 宮崎 太郎  
 電話番号

**※市町村長が必要と判断する場合  
 仲介事業者及び伐採事業者(立木を伐採する権原を有しない者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 □□林業(有)  
 電話番号

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

**1 森林の所在場所**

市郡	町村	大字	字	番地
		林小班		

**2 伐採の計画**

伐採面積	5.25 ha		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100%
集材・搬出方法	車両系により搬出する。		
路網の設置延長	600m		
伐採樹種	スギ、クヌギ		
伐採齢	スギ:45年、38年~52年、クヌギ:20年		
伐採の期間			

**3 伐採後の造林の計画**

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)	5.25	ha
人工造林による面積(A+B)	4.00	ha
植栽による面積(A)	4.00	ha
人工播種による面積(B)	0	ha
天然更新による面積(C)	1.25	ha
ぼう芽更新による面積(C)	1.25	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )	なし
天然下種更新による面積(D)		ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他( )	なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林(植栽・人工播種)	H29.3.1~H29.4.30	スギ	4.00	
天然更新(ぼう芽更新・天然下種更新)	H29.4.1~H29.12.31	クヌギ(ぼう芽更新)	1.25	
5年後において適確な更新がなされない場合	H34.4.1~H34.4.30	クヌギ	1.25	

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

4 備考

適合通知書: 不要

伐採の始期の90~30日前で提出する。

伐採後の造林をする者と同じ場合は不要。

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合、連名で提出する。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

伐採等届出を仲介事業者及び立木の伐採する権原を有しない伐採事業者が作成している場合に必要。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

伐採の計画は、市町村森林整備計画に定める標準的な方法に適合していること。

林小班を記入する。

小数点第2位まで記載し、第3位を四捨五入する。

立木材積による伐採率を記載する。

伐採する森林が異なる林齢の場合、伐採する立木の内最も多いものの林齢を記入し、最低林齢及び最高林齢を「(〇~〇)」のように記載する。

①始期は届出年月日以降30~90日とする。  
 ②伐採の期間が一年を超える場合は、年次別に伐採の計画を記載する。

①面積は、伐採後森林以外の用途に供される場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載する。  
 ②市町村森林整備計画に定める「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」の場合、人工造林を計画する。  
 ③伐採跡地が確実に更新される方法を選択する。

複数の樹種を造林する場合は、樹種ごとに記載する。

伐採後に森林以外の用途に供される場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載する。

植栽の場合、樹種別の植栽本数が、市町村森林整備計画に定める人工造林の標準的な方法に適合するよう記載する。

市町村森林整備計画に定める人工造林をすべき期間に適合する期間を記載する。  
 皆伐の場合:伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内。  
 択伐の場合:伐採が終了した日を含む翌年度の初日から起算して5年を越えない期間。

市町村森林整備計画に定める天然更新をすべき期間に適合するよう記載する。(伐採が完了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内。)

①森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別等を記載する。  
 ②合法性等の証明の希望の有無について記載する(任意)  
 (転用の場合は「確認通知書」、それ以外は「適合通知書」。)

①伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、その用途を記載する。  
 ②転用面積は1ha以下とする。  
 (転用面積が1haを超える場合は、県へ林地開発の許可申請が必要。)

※ 保安林を伐採する場合は、県へ伐採の許可申請が必要。  
 詳しくは県庁自然環境課または西臼杵支庁・農林振興局林務課へお問合せください。

①天然更新又は森林以外の用途に供されることが計画されている場合は、本欄を全て記載する。  
 ②5年後に天然更新が完了していない場合又は森林以外の用途に供されていない場合に、その時点から2年以内に造林する計画を記載する。

伐採等届出に係る変更届出書

年 月 日

〇〇市町村長 殿

**※必須**

**森林所有者**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 〇〇 〇〇 印  
 電話番号

**伐採する者(立木を伐採する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 △△(株) 印  
 電話番号

**伐採後の造林をする者(造林する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 宮崎 太郎 印  
 電話番号

**※市町村長が必要と判断する場合**  
**仲介事業者及び伐採事業者(立木を伐採する権原を有しない者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 □□林業(有) 印  
 電話番号

〇〇年〇〇月〇〇日に届け出た下記の伐採届けに関し、変更がありましたので届け出ます。

**【伐採届内容】**  
 伐採場所

伐採面積                    ha

伐採期間                    年 月 日    ~    年 月 日

伐採後の造林に係る権原を有する者

伐採事業者

**【変更内容(変更箇所のみ記入)】**

**※必須**

●(森林所有者、伐採する者、伐採後の造林をする者)  
 住所  
 氏名  
 連絡先  
 変更内容のわかる書類(契約書等)

**※市町村長が必要と判断する場合**

●(仲介事業者、伐採事業者)  
 住所  
 氏名  
 連絡先  
 変更内容のわかる書類(契約書等)

変更が判明した日以降の期日を記載。

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合、連名で提出する。  
 法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

伐採等届出を仲介事業者及び立木の伐採する権原を有しない伐採事業者が作成している場合に必要。  
 法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

伐採届旗交付申請書

年 月 日

〇〇市町村長 殿

**※必須**

**森林所有者(森林経営計画の認定を受けた物)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 〇〇 〇〇 印  
 電話番号

**森林所有者から経営の委託を受けた者**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 △△(株) 印  
 電話番号

**伐採する者(立木を伐採する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 届出人氏名 △△(株) 印  
 電話番号

**※市町村長が必要と判断する場合**  
**仲介事業者及び伐採事業者(立木を伐採する権原を有しない者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 □□林業(有) 印  
 電話番号

森林経営計画認定森林の伐採を行うので、宮崎県伐採及び伐採後の造林の届出及び森林の状況報告に関する事務処理等マニュアル第4の2の規定により、交付申請書を提出します。

1 交付枚数 ( ) 枚

2 伐採箇所

認定番号	森林の所在地				伐採面積 (ha)	伐採樹種	伐採の期間	備考
	市町村	大字	字	地番				

※森林経営計画の写しを添付すること。

3 備考

伐採の始期の90~30日前で提出する。

伐採等届出を仲介事業者及び立木の伐採する権原を有しない伐採事業者が作成している場合に必要。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

交付枚数は、伐採箇所1箇所あたり1枚とする。

交付対象は、森林経営計画の伐採計画のうち、皆伐で1ha以上を対象とする。

伐採及び伐採後の造林の届出書

年 月 日

〇〇市町村長 殿

※必須

**森林所有者**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 〇〇 〇〇 印  
 電話番号

**伐採する者(立木を伐採する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 △△(株) 印  
 電話番号

**伐採後の造林をする者(造林する権原を有する者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 宮崎 太郎 印  
 電話番号

※市町村長が必要と判断する場合  
**仲介事業者及び伐採事業者(立木を伐採する権原を有しない者)**  
 住所 宮崎市〇〇  
 報告者氏名 □□林業(有) 印  
 電話番号

造林の期間(転用の場合は、伐採の期間)の末日から30日以内。

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合、連名で提出する。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

伐採等届出を仲介事業者及び立木の伐採する権原を有しない伐採事業者が作成している場合に必要。法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記入する。

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

市	町	大字	字	番地
郡	村			
林小班				

2 伐採の実施状況

伐採面積	5.25 ha		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100%
集材・搬出方法	車両系により搬出する。		
路網の設置延長	600m		
伐採樹種	スギ、クヌギ		
伐採年齢	スギ:45年、38年~52年、クヌギ:20年		
伐採の期間			

小数点第2位まで記載し、第3位を四捨五入する。

立木材積による伐採率を記載する。

届出に記載した期間に収まっているか。

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林		H29.3.1~ H29.4.30	スギ	4.00	本
天然更新		H29.4.1~ H29.12.31	クヌギ (ぼう芽更新)	1.25	本

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されているか。

国マニュアルの「樹種別の造林本数欄の記載方法について」による記載又は資料の添付となっているか。

4 備考

①伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、その用途及び時期が記載されているか。  
 ②相続等により届出書と異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報が記載されているか。

届出に記載した方法となっているか。

届出に記載した期間となっているか。